

科目	看護過程				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義	授業時期	1 年
講師名	③伊藤純子				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	対象に応じた看護を展開するために、ヘンダーソンの枠組みを用いて看護過程の展開方法が習得できる。				
目標	1. ヘンダーソンの枠組みを用いて、看護介入の基本となる思考過程を理解する。 2. 看護過程の展開に応じた記録方法が理解できる。				
授業計画					
回	内容				
1~7	1. 看護過程とは ① 5 つの構成要素 ② 問題解決過程 ③ ヘンダーソンの看護理論 ④ アセスメントとは ⑤ 看護問題の明確化				
8~14	2. 看護過程の実際 ① 看護記録とは ② 関連図 ③ 看護計画 ④ 実施と評価 実習で受け持った患者を用いて、看護過程の実際を学ぶ				
15	終講テスト				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 90%、レポート・課題提出状況 10%を総合して評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	基礎看護学②基礎看護技術 I : 医学書院 看護の基本となるもの: 日本看護協会出版会				